



教育ダッシュボード

令和6年から本格的にはじまる 新しい教育の“かたち”

東京都教育委員会は、デジタルを活用して、
生徒の力を**最大限**に伸ばすための教育システムを構築します

TOKYOスマート・スクール・プロジェクト

学びのスタイルを「知識習得型」から

「価値創造・課題解決型」へと転換

学び方改革 デジタルを活用し、一人ひとりの理解度や進み方に応じた個別最適な学びや子供同士の主体的・対話的な学びを実現

教え方改革 学習ログを活用したエビデンスベースの指導

働き方改革 校務の効率化により子供たちと向き合う時間を確保

東京都教育委員会では、都立高校等の子どもたち一人ひとりの力を最大限に伸ばすため、教育データの利活用を開始します。

学校現場で新しくはじまる「教育ダッシュボード」

校務系データ

児童・生徒の生年月
住所(区市町村)
出欠席
定期考查素点
委員会・部活動
など

+

学習系データ

Teamsのメッセージ
リアクション
課題提出状況
ファイルへのアクセス状況
など

=

教育 ダッシュボード

「教育ダッシュボード」とは、データを集約・可視化し、エビデンスベースの指導による個別最適な学びを実現するためのシステムです。

成績や出席状況等の「校務系データ」と一人1台端末での課題提出の状況やファイルのアクセス状況等の「学習系データ」を連携し、データを集約・可視化します。この「教育ダッシュボード」を令和6年から段階的に運用開始します。



※画像は開発中のものです

「教育ダッシュボード」におけるデータの活用例



教育ダッシュボード

校務系データ

成績 出欠・遅刻・早退

学習系データ【一人1台端末0365】

利用状況 コミュニケーションの状況

A先生の授業では生徒が
端末を多く活用している。
A先生に活用方法を
聞いてみよう。

学習状況について
気になることがある。
学年会で話し合おう。



教科会での打ち合わせ
端末を活用した活動時間が長い
クラスの授業について意見交換

学年会での打ち合わせ
学校内で
指導方針を検討



→先生が児童・生徒やクラスの状況をすぐに把握し、指導・支援へ

「教育ダッシュボード」の活用

都立学校

- ・学習のつまずきをいち早く察知
- ・一人ひとりにあったアドバイス
- ・欠席や遅刻の傾向
- ・進路のアドバイス

など

東京都教育委員会

- ・学校別の傾向を客観的に把握
- ・教育施策の立案

など



→生徒一人ひとりの力を最大限に伸ばす教育へ

安全・安心に向けた取組

- ・情報セキュリティ対策として個人の氏名を仮名化
- ・個人のデータを見られるのは、学校の先生だけ
- ・児童・生徒のプライバシーにも最大限配慮



「教育ダッシュボード」の導入に向けて（予定）

令和5年

個人情報の
取扱い等について検討

令和6年

一部都立高校等に導入

令和7年

全都立学校*に導入
(※特別支援学校及び
高等学校通信制課程を除く)



「教育ダッシュボード」について

ご意見をお寄せください

パソコン、スマホで簡単アクセス!

以下のURLからWEBページへお進みください。



URL

<https://www.kyoikudata.metro.tokyo.lg.jp>

いただいたご意見は、今後の事業改善に生かしてまいります。